西部

東部(水)　南部(木)　中部(土)

■子どもたちの「いのち」を守る研修会　27日午後6時20分、大野城市曙町2丁目の大野城まどかぴあ。市内の小中学生や高校生、保護者、教師によるパネルディスカッション「スマートフォンやインターネットでスマートにネットワーク作り」、県教育センターの新谷浩二主任指導主事の講演「ネット上のいじめ」をシャットダウン！」。無料。市教育委員会教育指導室＝092(580)1909。

■夏の和白干潟の自然さがし　28日午前10時、東区和白4丁目の海の広場集合。正午解散。干潟や岩場、ヨシ原、雑木林などを歩き、水鳥やカニ、ゴカイ、貝、植物などを観察する。和白干潟を守る会が今年から始めた季節ごとの干潟観察会の第2弾。双眼鏡やルーペを持っている人は持参。西鉄貝塚線唐の原駅から徒歩5分。参加無料。山之内さん＝092(944)1543。

まちナビ

■志免町政治学級講演会「日本国憲法を学ぶ」　28日午後7時、志免町志免中央1丁目の町民センター視聴覚室。安全保障法制が注目される中、日本国憲法について理解するための講演会。講師は憲法学が専門の横田耕一九州大名誉教授。会費500円。政治学級の込山さん＝092(409)1387。

■納富賢智岡伯遺作展　30日～8月1日、新宮町上府のそびあしんぐう。中学校の美術教師時代から晩年まで54年間、主観や地輪（はにわ）、国内外の建物、自然風景など多彩なテーマで日本画を描き続け、2011年に84歳で亡くなった納富さんの作品約80点を展示＝写真は「香光（こんこう）の桜島」。納富さんが住んだ新宮町の台併60周年記念事業の一環。入場無料。実行委員長の長谷川さん＝090(8417)0817。

■第6回市民公開講座「知っ得!!納得!!　糖尿病にならない、なっても元気においしく食べるコツ」　29日午後2時～3時半、中央区長浜3丁目の浜の町病院3階第3会議室。同病院の糖尿病看護認定看護師と、管理栄養士が講演。定員30人。無料。同病院地域医療連携課＝092(721)9991（平日のみ）。

■前川貴行写真展「GREAT APES　森にすむ人々」～大型類人猿の肖像～　8月7～12日、博多区住吉3丁目の富士フイルムフォトサロン福岡。動物写真家の前川さんの個展。絶滅危惧種のオランウータン＝写真、ゴリラ、チンパンジー、ボノボを撮影した作品など約40点を展示。入場無料。フォトサロン＝092(510)4803。

「庭」の魅力全国に発信

「見る人の心を豊かに」

「eガーデン造園広場」社長
川辺　光正さん(66)＝福岡市早良区

●自宅付近の住宅街は緑に入りの散歩道。季節ごとに豊かな表情を見せる庭が多いという。毎日朝から写真を撮影するのは、午前中に写真館を見る人が多いためだという

早朝4時。川辺光正さん(66)＝福岡市早良区＝の一日は、インターネット上に庭園の写真を載せることから始まる。短文投稿サイトのツイッター、会員制交流サイトのフェイスブック、ブログも二つ。計四つのサイトに3枚ずつ。「イングリッシュガーデンには、それぞれの季節に咲く草花の移り変わりを、人に見てもらう楽しみがあります」。庭園の特徴や楽しみ方を紹介することも忘れない。

各サイトから「庭の写真館」のページにつながる。川辺さんが社長を務める「eガーデン造園広場」による、庭のカタログサイトだ。「和風」「洋風」「楽しむ庭」「癒やしの庭」「目的のある庭」。各カテゴリーは、さらに「洋風建築に合う和風の庭」「人と植物が共存できる庭」などと細かく分かれていく。写真の数は千枚以上。「家を建てるとき、どんな庭園を造ろうか―。見ているだけで心がくすぐられる。このページを通じて造園会社に相談もできる。

「まさか庭園を事業にするなんてね」

観光の専門学校を出て、約30年、身を置いたのは旅行業界。駐在したニュージーランドに転機となった。住民の家に滞はなく、公開された庭園が街行く人の目を引きつけていた。「世界一美しい」と、特に心を打たれたのは、国内第3の都市クライストチャーチの街並み。ピンク色のバラをそろえた庭園が風景を彩り、「街全体が花畑のようだった」という。休みのたびに足を運んだ。

2002年、日本に戻った。街を見渡すと、コンクリートばかり。塀に囲まれた庭園が多い。マンションも増えていた。一方、造園会社は、素晴らしい技術を持っているのに「職人気質であまり営業をしない」と気付いた。これでは、庭園を造りたい人はどこに頼めばいいのか分からない。

「日本人にもっと庭園を楽しんでほしい、造園会社にもっと庭を造ってほしい」。05年に会社を設立し、写真館の運営も始めた。交流サイトやブログを使うのは、営業にかける人件費を抑えることはもちろん、日本全国に発信できるからだ。

「見せる喜び」があり、自分も他人も心が豊かになる。それが「庭園」世界には、美しい庭園があふれている。明日はどんな庭を紹介しようか―。せいたんな悩みを抱えながら、また明日を迎える。

（森茂雄）

生き場々

はなしの横丁

「北崎に誇り　和太鼓の鼓動」と題して演奏。最後まで、飽きないことの大切さを訴えた。

〔西区〕北崎中の生徒が和太鼓に触れる

福岡市西区の北崎中（田畑弘行校長）で10日、道徳の公開授業があり、和太鼓の演奏家の池脇賀輔さん(29)が「北崎に誇り　和太鼓の鼓動」と題して演奏。最後まで、飽きないことの大切さを訴えた。

北崎中は、市教育委員会の心躍くまちづくり事業「道徳教育推進モデル校」の指定校で、授業はその一環。全校生徒約50人のほか保護者も参加した。

池脇さんは和太鼓を力強く演奏し「一度しかない人生。自分がやると決めたことは責任をもって取り組もう」と述べた。生徒たちも真剣、和太鼓に触れた＝写真。中学3年の山方あいのさん(14)は「高校受験を控えているけれど、力が湧いた。頑張ろうと思った」とうなずいた。

感謝状を贈られた中倉陸介さん（右から2人目）

〔糸島〕犯人逮捕の感謝状　糸島市内で小学2年女児が暴行を受けた事件で糸島署は19日、犯人逮捕に協力した同市二丈吉井の会社員、中倉陸介さん(38)に感謝状を贈った。

署によると、事件が起きたのは今月8日の夕方。同市二丈吉井の公園の砂場で、同級生の男児と2人で遊んでいた女児の背中を専門学校生の男(21)＝同市二丈福井＝が突然突き飛ばし、逃げ去った。そこに大工の散歩で通りかかった中倉さんに、男児が「おっちゃん助けて」と訴えた。雨上がりで泥まみれになった女児は、恐怖で声も出せなかったという。中倉さんは近所に見覚えのない人が歩いていた」という妻香織さん(38)から男の服装などを聞き、自転車で追いかけ、男をつかまえた。

今月4日には、三重県で女児連れ去り事件があったばかり。「素早い対応に感謝です」と署長に、中倉さんは「子どもやお年寄りなど、弱者を狙う行為は許せない」と話した。

〔西区〕児童が勾玉（まがたま）作りなど体験　福岡市西区の中村学園三陽中（三浦洋校長）で18日、小学生を対象にした勾玉づくりなどの体験イベントがあった＝写真。

地域の子どもたちと触れ合い、歴史に興味をもってもらおうと学校側が企画。親子約30人が参加した。

参加者は打製石器作り、火おこしなどを体験し、すっかり"原始人"気分に。勾玉作りに取り組んだ同市早良区の原小3年、梁蓉亜生君(8)は、顔を白く汚しながらヤスリで形を整えた。「難しいけれど、楽しい。完成したら、机に飾るよ」と話した。

〔西区、糸島〕生活情報誌「マイタウン」8月号が発行　西日本新聞社が、福岡市西区と糸島市の各家庭に無料配布する生活情報誌「マイタウン姪浜」（姪浜地区）、「マイタウン伊都」（西区と糸島市）の8月号が発行された。

「姪浜」は、地下鉄で働く人々を取材し、姪浜特集「地下鉄を支える」や、宅配・持ち帰りのグルメ企画など「伊都」は、九州大と地域の交流にスポットを当てた「九大のあるまち」のほか、お得なクーポンが付いたグルメやビューティー企画も。詳しくは西日本新聞社マイタウン編集室＝092(332)8223。

「マイタウン姪浜」8月号

「マイタウン伊都」8月号

大学選びはまずパンフレットで!
無料で大学・短大の大学案内を差し上げます。

テレメールを使って、関心のある大学のパンフレットをどんどん取り寄せて大学の新しい情報を比較・検討してみましょう！

無料　テレメールでカンタンに資料請求!　テレメール

① まずはテレメールにアクセス！
ケータイ・パソコンから http://telemail.jp
自動音声応答電話でもアクセス可能　050-8601-0101（24時間受付）

② 資料請求番号6ケタを入力！ ▶ 2～3日後で大学案内パンフが届く！
※ご請求の際や通信状況によっては4日以上かかる場合があります。

知い合わり先個人情報取り扱い方針
テレメールを通じて提供されたお客様のお名前・住所・電話番号・ご連絡先・ご希望の学部・学科・学年・個人情報を含むお問合せ・資料請求・個人情報に関する問い合わせ・苦情・お問合せ・資料請求・個人情報に関する問い合わせ・苦情・お問合せ・資料請求・個人情報に関する問い合わせ・苦情・お